



## テーマ：北風と太陽（イソップ童話より）

### 【あらすじ】

北風と太陽が、どちらが強いかで言いあらそっていました。

議論ばかりしていても決まらないので、それでは力だめしをして、旅人の着物を脱がせた方を勝ちにしようということになりました。

まずはじめに、北風です。北風は、思いきり強く、旅人に「ビューッ!」と風を吹きつけました。旅人は震えて、着物をしっかり押さえました。北風は、いちだんと力を入れて吹きつけました。旅人は、あまりの寒さに、着物の上にもう1枚重ねて着てしまいました。

次に太陽です。太陽は、ぼかぼかとあたたかく旅人を照らしました。旅人が上着を脱ぐのを見ると、今度はもっと暑くて強い日ざしをおくりました。じりじりと照りつける暑さに、旅人はたまらなくなって着物をぜんぶ脱ぎすてました。そして近くの川へ、水を浴びにいきました。結果は、太陽が勝ちました。



イソップ童話で有名な「北風と太陽」の話は、人に何かをさせるには、北風のように力づくでやるよりも、太陽のように、相手はその気になるように、愛情を持って粘り強く接する方が効果的であるということ、教訓として教えています。子育てや生徒指導においても、結果を早く求めようとする、北風のように激しい言葉や力づくになってしまいやすいです。言葉で言うほど簡単ではありませんが、常に愛情を注ぎ続ける太陽のように、温かい眼差しで時間をかけて向き合うほうが、一見遠回りのように見えても結果が上手くいくことが多いように感じます。